

# プログラム

## 第1日目 11月29日 (金)

8:30～9:30

■ 理事会

---

9:30～9:40

■ 開会の辞

---

9:40～11:10

■ シンポジウム1 psychosisとは何か

---

座長：松本 和紀（東北大学大学院 医学系研究科精神神経学分野）  
針間 博彦（松沢病院 精神科）

S1-1

psychosis概念の歴史と現状

東京都立松沢病院 精神科

○針間 博彦

S1-2

Psychosisにおける脳形態変化

<sup>1</sup>医療法人社団四方会有沢橋病院、<sup>2</sup>富山大学大学院 医学薬学研究部神経精神医学講座

○高柳陽一郎<sup>1,2</sup>、高橋 努<sup>2</sup>、笹林 大樹<sup>2</sup>、鈴木 道雄<sup>2</sup>

S1-3

心理社会的側面からみたpsychosis

東北大学大学院 医学系研究科精神神経学分野

○松本 和紀

11:10～12:40

## シンポジウム2 非薬物療法による neuromodulation

---

座長：篠崎 和弘（浅香山病院 臨床研究研修センター）  
中込 和幸（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター）

### S2-1

#### 統合失調症患者における認知機能リハビリテーションによる脳画像変化

奈良県立医科大学 精神医学講座

○松田 康裕

### S2-2

#### 統合失調症における運動療法による neuromodulation

和歌山県立医科大学 医学部神経精神医学教室

○高橋 隼

### S2-3

#### 行動活性化が閾値下うつ病のメタ認知とそれにかかる内側前頭前野へもたらす効果

京都大学大学院 教育学研究科

○塩田 翔一

### S2-4

#### 強迫症・不安症の認知行動療法の作用機序と治療効果予測：脳画像による検討

千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

○平野 好幸

12:50～13:50

## ランチョンセミナー1

---

座長：松原 三郎（松原愛育会 松原病院）

#### 疾患早期から考える、ひとり一人に適した抗精神病薬治療

東北大学大学院 医学系研究科精神神経学分野

○松本 和紀

共催：大塚製薬株式会社

14:00～14:30

## 総会

---

14:30～15:30

## 特別講演

座長：川崎 康弘（金沢医科大学 精神神経科学）

### 統合失調症の基本病態と治療薬開発の方向性

有沢橋病院、富山大学名誉教授

○倉知 正佳

15:30～17:00

## シンポジウム3 日本における神経画像研究

座長：岸本 年史（奈良県立医科大学 精神医学講座）

鈴木 道雄（富山大学 神経精神医学講座）

### S3-1

#### At-Risk Mental Stateにおける脳形態変化：国内多施設共同研究

<sup>1</sup>富山大学大学院 医学薬学研究部神経精神医学講座、<sup>2</sup>医療法人社団四方会有沢橋病院、<sup>3</sup>東京大学大学院 医学系研究科精神医学分野、<sup>4</sup>東北大学大学院 医学系研究科精神神経学分野、<sup>5</sup>東邦大学 医学部精神神経医学講座

○笹林 大樹<sup>1</sup>、高柳陽一郎<sup>1,2</sup>、高橋 努<sup>1</sup>、笠井 清登<sup>3</sup>、松本 和紀<sup>4</sup>、水野 雅文<sup>5</sup>、  
鈴木 道雄<sup>1</sup>

### S3-2

#### ARMSにおける発症閾値下の精神病症状と大脳皮質-線条体-視床ループの変化についての研究

東邦大学 医学部精神神経医学講座

○片桐 直之

### S3-3

#### 幻覚の脳構造画像研究の発展と今後の展望

東北大学大学院 医学系研究科精神神経学分野

○佐藤祐太郎

### S3-4

#### 脳磁図計による、自閉スペクトラム症の早期診断の可能性

金沢大学附属病院 神経科精神科

○菊知 充

17:00～18:00

## ポスターコアタイム

P-1

### 心の健康増進プログラムにおけるスマートデバイスとの関わりと心理指標の変化との関連

<sup>1</sup>東北大学大学院 医学系研究科 予防精神医学寄附講座、<sup>2</sup>東北学院大学 教養学部 人間科学科、<sup>3</sup>NECソリューションイノベータ株式会社、<sup>4</sup>東北大学大学院 医学系研究科 精神神経学講座、<sup>5</sup>東北大学病院 精神科

○千葉 柘作<sup>1</sup>、東海林 渉<sup>1,2</sup>、國井 陽子<sup>1</sup>、臼倉 瞳<sup>1,5</sup>、山本 弘樹<sup>3</sup>、梶山 征央<sup>3</sup>、山口美峰子<sup>3</sup>、松本 和紀<sup>1,4,5</sup>

P-2

### 学校教員向けメンタルヘルス・リテラシー教育プログラム

<sup>1</sup>奈良県立医科大学 精神医学講座、<sup>2</sup>東京大学大学院教育学研究科 健康教育学分野

○上田 淳哉<sup>1</sup>、松田 康裕<sup>1</sup>、盛本 翼<sup>1</sup>、岡崎 康輔<sup>1</sup>、岸本 直子<sup>1</sup>、松隈 誠矢<sup>2</sup>、山口 智史<sup>2</sup>、佐々木 司<sup>2</sup>、岸本 年史<sup>1</sup>

P-3

### 不登校中学生に対する訪問支援の試みー精神科訪問看護利用の事例からー

<sup>1</sup>ホーム訪問看護ステーション、<sup>2</sup>東京大学医学部附属病院こころの発達診療部

○平野 吉晃<sup>1</sup>、江口 聡<sup>1,2</sup>、橋爪 清佳<sup>1</sup>

P-4

### アスリートのメンタルヘルスリテラシー教育プログラムに関するナラティブレビュー

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部、<sup>2</sup>一般社団法人 日本ラグビーフットボール選手会、<sup>3</sup>東邦大学医学部 精神神経医学講座

○小塩 靖崇<sup>1</sup>、藤井 千代<sup>1</sup>、畠山 健介<sup>2</sup>、水野 雅文<sup>3</sup>

P-5

### ピアスタッフによる相談支援の可能性ー退院支援・就労支援・ひきこもり支援についてー

島根大学人間科学部

○足立 孝子

P-6

### 早期精神症における大脳白質微細構造と幻覚の関係：性別による違いの検討

<sup>1</sup>東北大学大学院 医学系研究科 精神神経学分野、<sup>2</sup>東北大学病院精神科、<sup>3</sup>東北大学 災害科学国際研究所 災害精神医学分野

○佐藤祐太郎<sup>1</sup>、佐久間 篤<sup>2</sup>、大室 則幸<sup>2</sup>、桂 雅宏<sup>2</sup>、阿部 光一<sup>1</sup>、富本 和歩<sup>1</sup>、飯塚 邦夫<sup>2</sup>、松岡 洋夫<sup>1,2</sup>、富田 博秋<sup>1,2,3</sup>、松本 和紀<sup>1,2</sup>

P-7

### J-CAP 初回エピソード精神病に対する包括的支援の5年後—単施設調査

<sup>1</sup> 東京大学医学部附属病院精神神経科、<sup>2</sup> 社会医療法人居仁会総合心療センターひなが

○市橋 香代<sup>1,2</sup>、牛場 裕治<sup>2</sup>、浅田 初海<sup>2</sup>、田井 葉子<sup>2</sup>、矢田久美子<sup>2</sup>、貝田 亜子<sup>2</sup>、  
服部 春樹<sup>2</sup>、堀口 幸恵<sup>2</sup>、寺澤 千里<sup>2</sup>、藤田 泉<sup>2</sup>、藤田 康平<sup>2</sup>

P-8

### 高齢期における精神発達資源と生きがい感との関連

<sup>1</sup> 富山大学疫学・健康政策学、<sup>2</sup> 富山大学神経精神医学、<sup>3</sup> NPO法人みどりの風、<sup>4</sup> 公益財団法人国際全人医療研究所

○立瀬 剛志<sup>1</sup>、赤崎有紀子<sup>2</sup>、藤森 純子<sup>3</sup>、鈴木 道雄<sup>2</sup>、関根 道和<sup>1</sup>、永田勝太郎<sup>4</sup>

P-9

### At-risk mental stateにおける精神疾患の家族歴に関する研究

<sup>1</sup> 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、<sup>2</sup> 富山大学保健管理センター

○高橋 努<sup>1</sup>、西山志満子<sup>1,2</sup>、水上 祐子<sup>1</sup>、坂田 香<sup>1</sup>、樋口 悠子<sup>1</sup>、鈴木 道雄<sup>1</sup>

P-10

### 治療抵抗性統合失調症患者に対して精神病に対する認知行動療法（Cognitive Behavioral Therapy for Psychosis: CBTp）を施行した1例

岡山県精神科医療センター

○佐藤康治郎

P-11

### 初回エピソード統合失調症患者における脳幹体積の検討

<sup>1</sup> 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、<sup>2</sup> 京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座精神医学教室、<sup>3</sup> 富山大学大学院医学薬学研究部放射線診断・治療学講座

○笹林 大樹<sup>1</sup>、高柳陽一郎<sup>1</sup>、高橋 努<sup>1</sup>、藤本 岳<sup>2</sup>、古市 厚志<sup>1</sup>、木戸 幹雄<sup>1</sup>、西川祐美子<sup>1</sup>、  
中村美保子<sup>1</sup>、野口 京<sup>3</sup>、鈴木 道雄<sup>1</sup>

P-12

### 早期精神病に関する精神科医の疾病観

金沢医科大学・精神神経科学

○川崎 康弘、米山 智子、橋本 玲子、長澤 達也、上原 隆

P-13

### 富山大学附属病院における研修医支援の試み—メンター制度を中心に

<sup>1</sup> 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、<sup>2</sup> 富山大学附属病院専門医養成支援センター、<sup>3</sup> 富山大学附属病院卒後臨床研修センター、<sup>4</sup> 富山大学大学院医学薬学研究部感染予防医学講座

○古市 厚志<sup>1,2</sup>、小谷 好美<sup>3</sup>、山本 善裕<sup>4</sup>、立野 貴大<sup>1</sup>、中村美保子<sup>1</sup>、西川祐美子<sup>1</sup>、峯村 正実<sup>2</sup>、  
中辻 裕司<sup>3</sup>

## P-14

## 教育現場におけるメンタルヘルスの取り組みと課題

<sup>1</sup>国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部、<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部

○長谷川由美<sup>1</sup>、小塩 靖崇<sup>2</sup>、藤井 千代<sup>2</sup>、住吉 太幹<sup>1</sup>

## P-15

## 逆境的小児期体験の分類と後方的カルテ調査による検証の予備的研究

<sup>1</sup>東京大学大学院医学系研究科精神医学分野、<sup>2</sup>東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構、<sup>3</sup>東京大学こころの多様性と適応の総合的研究機構、<sup>4</sup>東京大学大学院総合文化研究科

○山岸 美香<sup>1</sup>、櫻田 華子<sup>1</sup>、金原 明子<sup>1</sup>、岡村由美子<sup>1</sup>、里村 嘉弘<sup>1</sup>、榊原 英輔<sup>1</sup>、松岡 潤<sup>1</sup>、岡田 直大<sup>2</sup>、小池 進介<sup>3,4</sup>、神出誠一郎<sup>1</sup>、近藤 伸介<sup>1</sup>、市橋 香代<sup>1</sup>、笠井 清登<sup>1</sup>

## P-16

## 地域の児童のこころの健康と早期支援への啓発活動の検討—A町におけるアンケート調査の取り組みを振り返る—

<sup>1</sup>金沢医科大学 精神神経科学、<sup>2</sup>金沢医科大学病院 医療技術部

○橋本 玲子<sup>1</sup>、竹本早知子<sup>2</sup>、川崎 康弘<sup>1</sup>

## P-17

## At risk mental stateにおける大脳皮質厚の変化と認知機能障害との関連

<sup>1</sup>富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座、<sup>2</sup>富山大学保健管理センター、<sup>3</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>4</sup>東北大学大学院医学系研究科精神医学分野、<sup>5</sup>東京大学大学院医学系研究科精神医学分野、<sup>6</sup>帝京平成大学臨床心理学研究科、<sup>7</sup>富山大学大学院医学薬学研究部放射線診断・治療学講座、<sup>8</sup>浜松医科大学精神神経医学講座

○笹林 大樹<sup>1</sup>、高柳陽一郎<sup>1</sup>、高橋 努<sup>1</sup>、西山志満子<sup>2</sup>、水上 祐子<sup>1</sup>、片桐 直之<sup>3</sup>、辻野 尚久<sup>3</sup>、根本 隆洋<sup>3</sup>、佐久間 篤<sup>4</sup>、桂 雅宏<sup>4</sup>、大室 則幸<sup>4</sup>、岡田 直大<sup>5</sup>、多田真理子<sup>5</sup>、管 心<sup>6</sup>、小池 進介<sup>5</sup>、中村美保子<sup>1</sup>、古市 厚志<sup>1</sup>、木戸 幹雄<sup>1</sup>、西川祐美子<sup>1</sup>、野口 京<sup>7</sup>、山末 英典<sup>5,8</sup>、松本 和紀<sup>4</sup>、水野 雅文<sup>3</sup>、笠井 清登<sup>5</sup>、鈴木 道雄<sup>1</sup>

## P-18

## 京浜地区における在日外国人の精神科受診の実態について

<sup>1</sup>東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>2</sup>済生会横浜市東部病院精神科、<sup>3</sup>川崎市立川崎病院精神・神経科、<sup>4</sup>松蔭大学看護学部、<sup>5</sup>NPO法人MAIKEN

○岩井 桃子<sup>1</sup>、根本 隆洋<sup>1</sup>、辻野 尚久<sup>1,2</sup>、田久保陽司<sup>1,2</sup>、山口英理子<sup>1,2</sup>、鹿島美納子<sup>3</sup>、丸山 昭子<sup>4</sup>、三浦左千夫<sup>5</sup>、齋藤 寿昭<sup>3</sup>、水野 雅文<sup>1</sup>

P-19

### 東大病院こころの検査プログラム参加患者の転帰調査

<sup>1</sup> 東京大学医学部附属病院 精神神経科、<sup>2</sup> 東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構、<sup>3</sup> 東京大学大学院総合文化研究科

○櫻田 華子<sup>1</sup>、山岸 美香<sup>1</sup>、金原 明子<sup>1</sup>、岡村由美子<sup>1</sup>、里村 嘉弘<sup>1</sup>、榊原 英輔<sup>1</sup>、松岡 潤<sup>1</sup>、岡田 直大<sup>2</sup>、小池 進介<sup>3</sup>、神出誠一郎<sup>1</sup>、近藤 伸介<sup>1</sup>、笠井 清登<sup>1</sup>

P-20

### 心理教育はトラウマ体験者への初期対応に対する準備意識を促進するか？

甲南大学文学部人間科学科

○大澤 香織

P-21

### Ultra High Risk for Psychosis における 1 年後の転帰不良と自我障害の関連

<sup>1</sup> 富山大学保健管理センター、<sup>2</sup> 富山大学大学院医学薬学研究部神経精神医学講座

○西山志満子<sup>1,2</sup>、樋口 悠子<sup>2</sup>、水上 祐子<sup>2</sup>、笹林 大樹<sup>2</sup>、高橋 努<sup>2</sup>、鈴木 道雄<sup>2</sup>

P-22

### 看護学生の元気に役立つ道具箱－WRAPの一部を体験し自分の道具に気づく－

聖マリア学院大学 看護学部

○八谷 美絵、谷 多江子、安藤 満代

P-23

### R-PASによる減弱精神病症候群（APS）のアセスメント：潜在的な利点の検討

<sup>1</sup> 帝京平成大学大学院臨床心理学研究科、<sup>2</sup> 東邦大学医学部精神神経医学講座、<sup>3</sup> 恩賜財団済生会横浜市東部病院

○井上 直美<sup>1,2</sup>、田形 弘実<sup>2</sup>、船渡川智之<sup>2</sup>、辻野 尚久<sup>3</sup>、根本 隆洋<sup>2</sup>、水野 雅文<sup>2</sup>

## 第2日目 11月30日(土)

9:00～10:30

### シンポジウム4 早期精神病の理解と支援に求められる心理社会的な視点

座長：桂 雅宏（東北大学 精神神経科学）  
辻野 尚久（済生会横浜市東部病院 精神科）

#### S4-1

#### 臨床的ハイリスク状態における生活の質

<sup>1</sup>富山大学大学院 医学薬学研究部神経精神医学、<sup>2</sup>富山大学 保健管理センター、

<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部

○高橋 努<sup>1</sup>、樋口 悠子<sup>1</sup>、水上 祐子<sup>1</sup>、西山志満子<sup>1,2</sup>、中村美保子<sup>1</sup>、笹林 大樹<sup>1</sup>、西川祐美子<sup>1</sup>、  
住吉 太幹<sup>3</sup>、鈴木 道雄<sup>1</sup>

#### S4-2

#### 早期精神病における社交不安

東邦大学 医学部精神神経医学講座

○根本 隆洋

#### S4-3

#### 早期精神病における家族と家族介入 —EEを中心に—

東北大学病院 精神科

○濱家由美子

#### S4-4

#### 早期精神病を経験した人のリカバリーについて考える

東京大学 精神医学分野

○金原 明子

10:30～12:00

## シンポジウム5 自殺予防「地域保健・医療と自殺予防」

---

座長：河西 千秋（札幌医科大学 医学部神経精神医学講座）  
市来 真彦（東京医科大学 精神医学分野）

### S5-1

#### 医療における自殺予防対策の取り組み

札幌医科大学 医学部神経精神医学講座

○河西 千秋

### S5-2

#### 地域自殺対策

<sup>1</sup>岩手医科大学 医学部神経精神科学講座、<sup>2</sup>岩手医科大学 医学部災害・地域精神医学講座、<sup>3</sup>岩手県こころのケアセンター

○大塚耕太郎<sup>1,2,3</sup>、小泉 範高<sup>1,2,3</sup>、赤平美津子<sup>2,3</sup>

### S5-3

#### 石川県における「SOSの出し方教育」の実践

石川県こころの健康センター

○角田 雅彦

### S5-4

#### 認知行動療法を活用した精神科病院での自殺対策の取り組み

岡山県精神科医療センター

○耕野 敏樹

12:10～13:10

## ランチョンセミナー2

---

座長：水野 雅文（東邦大学 医学部精神神経医学講座）

#### 統合失調症治療の新たな治療選択肢～世界初の経皮吸収型抗精神病薬による治療戦略～

藤田医科大学 医学部精神神経科学講座

○岩田 仲生

共催：大日本住友製薬株式会社

13:20～14:50

## シンポジウム6 学習指導要領の改訂に関わる精神保健予防教育

「精神疾患の予防と回復—学校精神保健への期待」

座長：新村 秀人（慶應義塾大学 医学部精神・神経科学教室）

川崎 康弘（金沢医科大学 精神神経科学）

### S6-1

#### 高等学校保健体育 学習指導要領改訂の背景と期待

東邦大学 医学部精神神経医学講座

○水野 雅文

### S6-2

#### 学校精神保健教育に期待される効果と課題

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部

○小塩 靖崇、相田 早織、小川 亮、藤井 千代

### S6-3

#### 学校精神保健における遠隔相談の可能性

株式会社 Welcome to talk、東邦大学 精神神経医学講座、桐生第一高等学校

○関崎 亮

14:50～16:50

## ■ シンポジウム7 発達障害「発達障害の二次障害の予防－多（他）職種との連携－」

---

座長：小坂 浩隆（福井大学 医学部精神医学）  
菊知 充（金沢大学附属病院 神経科精神科）

### S7-1

#### 発達障害の二次障害の対応・薬物治療

福井大学 医学部精神医学

○小坂 浩隆

### S7-2

#### 教育学部の立場から（小中学生への介入）

福井大学 教育学部

○藤岡 徹

### S7-3

#### 県内の高校との協力体制（高校生の介入）

金沢大学 人間社会研究域

○吉村 優子

### S7-4

#### 不安への介入（勇者の旅：予防教育プログラム）

千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

○浦尾 悠子

16:50～17:00

## ■ 閉会の辞

---